

平成 28 年 8 月 29 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 A C K グ ル ー プ  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 野 崎 秀 則  
( J A S D A Q ・ コ ー ド 番 号 2 4 9 8 )  
問 合 せ 先 取 締 役 統 括 本 部 長 森 田 信 彦  
T E L 0 3 - 6 3 1 1 - 6 6 4 1

## **株式会社オリエンタルコンサルタンツ 国内初となる津波避難シェルターの落成**

高知県では、平成 24 年 3 月 31 日に内閣府が公表した津波高の推計結果を受け、「最悪のケースにおいても県民の生命を確実に守る」ことを基本として津波避難対策に対する取り組みが進められています。その取り組みの一環として、従来から整備を進めてきた自然地形を利用した高台や津波避難タワー、津波避難ビル等で対応することが難しく、津波浸水予測時間が短い地域や、浸水が深い地域、さらに高齢者率の高い地域などへの対応として、地下空間への水平移動により迅速に避難が可能となる「津波避難シェルター」の検討、整備が進められています。

当社グループの基幹会社である株式会社オリエンタルコンサルタンツ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：野崎秀則）は、この国内初となる津波避難シェルターの実現性を検討する技術検討業務を受託し、地震発生や津波到達時における構造信頼性、避難時のシェルター内環境、避難誘導性などについて、同社の保有する多様なインフラ整備・リスク管理にかかわる知識・技術から課題抽出、対策を創造し、技術検討委員会〔高知県、高知工科大学他〕の運営を支援いたしました。

また、「都呂津波避難シェルター」に関わる調査・測量、実施設計を受託し、高知県が掲げる「生命を確実に守る」を念頭に、南海トラフ地震等発生の被害事象想定を繰り返し、多様な分野の技術を高度に応用・総合化させることで、有害な被害を受けない耐震構造、あるいは、想定津波による浸水、波圧に対応できる止水性構造を確保しました。加えて、被災された方々に迅速に、安心して避難いただけるようシェルター内の施設配置、施設の配色等の細部についても高知県、室戸市の関係者の方々と議論を重ね検討を行いました。

この度、8 月 25 日（木）に落成式典が開催され、県議会議長、室戸市長、市議会議長、地元自主防災組織会長 などの関係者が招かれる中、同社も来賓として同式典に出席いたしました。

同式典では神事に続き、整備の背景、来賓の祝辞、施設概要の説明がなされ、テープカット後に地元自主防災組織会長からは避難訓練を通じ、確実に避難できる状況を作っていきたいとの挨拶がありました。

今後も同社は、柔軟な発想のもと、長年培った多様な分野に対する高い技術力と創造力、旺盛なチャレンジ精神をもって、地域の安全・安心に繋がる防災力向上に向けた取り組みに貢献してまいります。

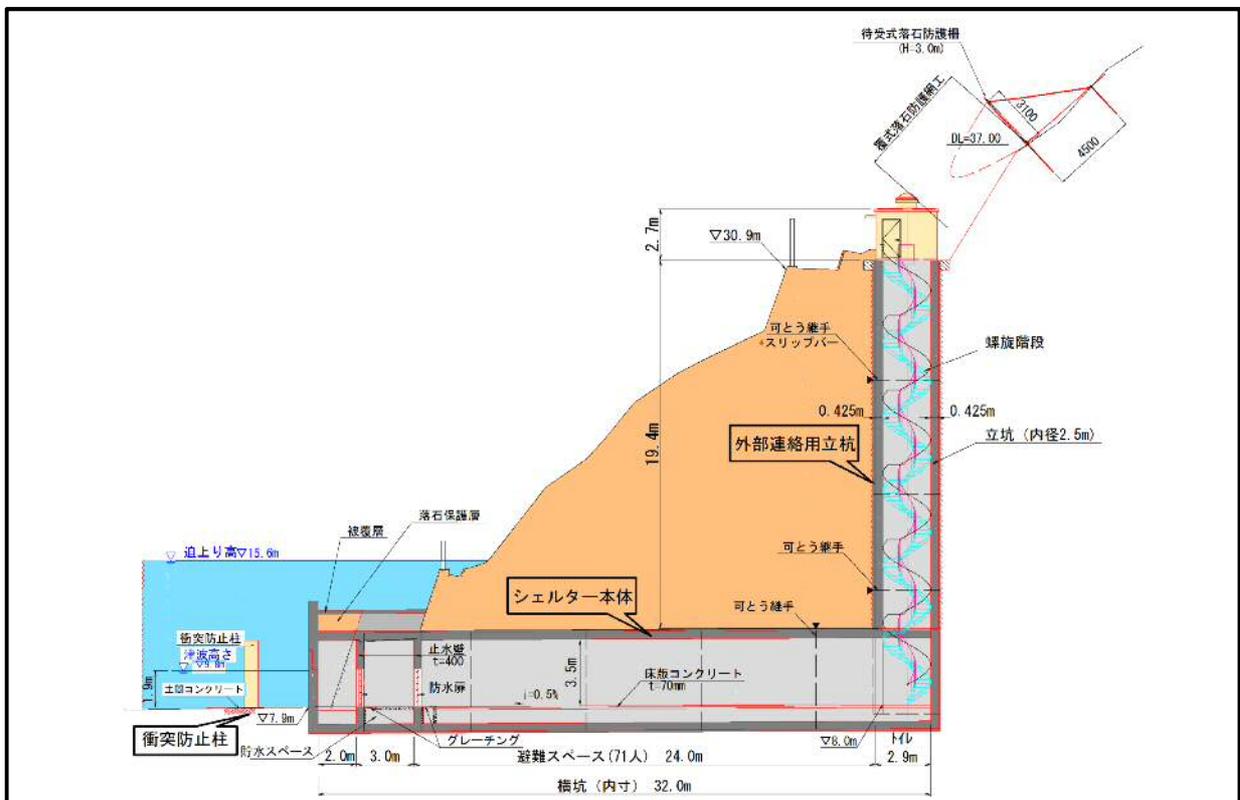
<同社発表論文等>

- ・日経コンストラクション 2015.5.25 ズームアップ 津波・高潮 津波避難シェルター建設工事（高知県室戸市） 沿岸のリスクを形状や機構で回避
- ・日経コンストラクション 2015.9.14 ズームアップ トンネル 津波避難シェルター建設工事（高知県） 急傾斜地に築く L 字形の避難路
- ・「シェルター型の津波避難施設における構造形式選定について」 平成 27 年度 建設コンサルタント 業務・研究発表会 論文集（第 15 回） 2015 年 09 月

【都呂津波避難シェルター一位置図】



【都呂津波避難シェルター一断面図】



【都呂津波シェルター落成式の様子と各種施設】



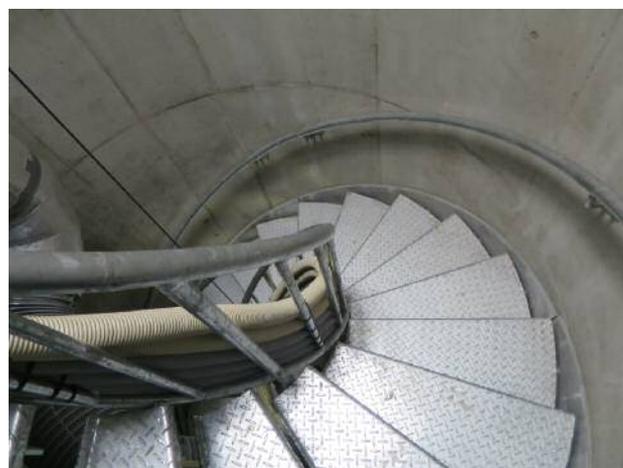
落成式テープカット



止水扉（2重）



横坑（内 部）



立坑内（らせん階段）



立坑上部の外部連絡口上屋



シェルター位置図

＜本資料に関するお問い合わせ先＞  
株式会社オリエンタルコンサルタンツ  
TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011  
URL: <http://www.oriconsul.com/>  
統括本部 藪内、伊藤